

8～9月に行われたイベントなどについて お知らせします

日光花火大会

8月19日(土)、第一回日光花火大会が開催されました。今市地域で約70年、日光地域で約20年行われてきた夏と秋の花火大会を統合して初めて行われた大会で、花火大会としては4年ぶりの開催となりました。

観覧会場の日光だいや川公園や丸山公園には、花火大会を心待ちにしていた若者や家族連れなど、約4万5,000名が集まり、午後7時の開始から、夜空に色とりどりに咲いた5,000発の花火を楽しみました。

だいや川公園では、開放的な雰囲気の中、リラックスしながら座るカップルや芝生を走り回る子どもたちの姿も見られ、思い思いに花火を楽しむ人々であふれました。

大沢から家族で観覧に来ていた佐藤さんは「日光の花火には家族で初めて来ました。この花火が子どもたちの心にずっと残ってくれるとうれしいです」と話してくれました。



日光の夜空に咲いた大輪の花



だいや川公園は見物客で大にぎわい



楽しそうに踊る足尾中学校の先生と生徒



櫓の周囲を踊る参加者

8月13日(日)、足尾行政センター前で足尾町納涼祭が開催されました。午後6時30分ごろには、鉱山労働を表現した「直利音頭」の歌とお囃子の演奏が響き渡るのに合わせ、大勢の人が櫓の周囲を踊り始めました。直利音頭保存会や足尾小中学校の生徒などがおそろいの法被を着て踊ったり、孫や子どもにも教えながら

踊ったりする方の姿も見られました。祭りの終盤では、お囃子も熱を帯び、踊りも何重もの輪となり、会場の雰囲気は最高潮となりました。この日は時折強い雨が降りましたが、午後8時30分ごろには、高台から打ち上げ花火が上がり、足尾のにぎやかな夏の夜のフィナーレを飾りました。



笑顔で商品を受け取り♪



コッペパンを手に、ハイチーズ

9月2日(土)・3日(日)、今年で4回目となる「にこっぺパン Project 2023」が開催されました。市内にある約50店舗が参加し、各店舗が自慢の料理やスイーツなどをはさんだコッペパンを販売しました。街中では、パンを買い求める方の姿が多く見られ、今年も盛況のうちに完売しました。

今回初めてコッペパンを購入した池田さんは「今後も開催されて、盛んなイベントになってくれればいいですね」と話しました。また、9月2日には、街中めぐり健康ウォーキングがコラボ開催。22名の参加があり、それぞれ思い思いのルートで街中を探索し、汗を流しました。

足尾町納涼祭



「にこっぺパン project」健康ウォーキング



今市高校2年次「総合的な探究の時間」テーマ別ガイダンス

7/6

提供：県立今市高等学校

今市高校2年次「総合的な探究の時間」で、市役所の方々が講師となり「テーマ別ガイダンス」を行いました。クラスごとに観光・子育て・健康・環境保全のテーマのもと、市の良いところや課題などについて講話を受けました。今後探究活動を進めていくにあたり、貴重な機会となりました。



保育課職員による「子育て」のガイダンス

こども将棋教室

7/23

中央公民館で市内小学生を対象に「こども将棋教室」を開催しました。将棋のルールを知らない「初めてコース」とルールがわかる「初心者コース」に分かれ、全3回の講座を行いました。子どもたちは、先生の話に熱心に耳を傾け、駒の動かし方がわからなかった子も、将棋を指せるようになりました。



熱心に教わる子どもたち

寄附金の寄贈

7/26

書の一分野である「^{こくじ}刻字」を通して、市内外に作品を発売している日光市刻字連盟および同連盟顧問である刻字家の秋山浩志^{あきやまひろし}氏は、寄附金の寄贈や展覧会の入賞報告のため市長を訪問しました。「寄附金は日頃の活動への協力に対する恩返しです。社会教育事業に役立ててほしいです」と話しました。



日光市刻字連盟の皆さん

八日市七夕まつり

7/30

提供：日光大沢青年団

八日市公民館で七夕まつりを開催しました。このお祭りは、地元や近隣の高校生と八日市の老人会^{たかみね}「高嶺会」の方が、「地域でもっとつながろう」と協力して企画したものです。当日は、子どもたちなど約200名が参加し、短冊に願い事を書いたり、昔遊びなどをしたりと楽しい時間を過ごしました。



七夕まつりを企画した皆さん

バイオ燃料バス実証運行開始

8/1

東武バス日光は、廃食用油由来のバイオ燃料を利用したバスの実証運行を開始しました。

今後、車両機器類への影響や燃料効率などを検証していきます。



バイオ燃料を利用したバス

日光地域における路線バスなどに活用することで、温室効果ガスの排出量を年間70t以上削減できる見込みです。

消防団協力事業所表示証交付式

8/9

消防団協力事業所制度は、積極的に消防団活動に協力している事業所などに、その証しとして市が表示証を交付する制度です。今回は、有限会社狐塚建設に表示証を交付し、消防団活動へのさらなる協力を依頼しました。



こづかまさひろ 狐塚正廣代表取締役(左から2番目)

現在、狐塚建設を含め、市内18事業所を認定しています。